

千葉職対連ニュース

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba_syokutairen@ybb.ne.jp

HP : <https://chiba-syokutairen.org/>

労災保険料の使われ方 (2017・平成29年度)

厚生労働省が発表した2017年・平成29年度の労災保険の実績を紹介します。

労災保険の保険料は事業主が負担しています。保険制度により補償されても、被災者・遺族が失ったものは余りに大きく、不十分な内容です。その上、

労災認定から弾かれて救済されない被災者が数知れずおり、認定基準を改める必要があります。

何より、事業主が保険料を支払うだけでなく、安全で健全な職場作りに真剣に取り組む事が、本当の「働き方改革」と言えます。

収入： 約1兆2,177億円 (うち保険料収入は8,686億円)

支出： ①労災保険給付等 8,317億円

②社会復帰促進等事業 642億円

③その他 人件費・事務費等 1,050億円

積立： 労働災害に対する年金給付資金 未記載 (平成28年度末責任準備金7兆6,542億円)

繰り越し(翌年度に係る給付費・事業分)： 1,989億円

①の労災保険給付等の給付内容

保険事故	種類	金額	構成比
	合計	8,317億円	100.0%
負傷・疾病	療養(補償)給付	2,380億円	28.5%
	休業(補償)給付	1,287億円	15.5%
	傷病(補償)年金	322億円	3.9%
障害	障害(補償)一時金	406億円	4.9%
	障害(補償)年金	1,489億円	17.9%
死亡	遺族(補償)一時金	176億円	2.1%
	遺族(補償)年金	2,160億円	26.0%
	葬祭料	21億円	0.3%
その他	介護(補償)給付	64億円	0.8%
	二次健診等給付	12億円	0.1%



「明治維新の教え」

(新連載 その1)

「世界の道はローマに通じる」という言葉があります。「パックス・ロマーナ」と讃えられた永遠の都・ローマ。そのローマにあこがれた人たちが「平和なローマ」につながる道を迎えることを期待したのでしょう。

時代は下り、アジアでは日本の徳川時代、およそ250年間の平和が続きました。世界の歴史家はこれ

を「パックス・トクガワーナ」と呼んでいます。日本各地の大名は自分の治める領国と江戸とを一年おきに参勤交代。江戸へ上り江戸の文化を吸収してはそれを領国に持ち帰り、地方文化も栄えていきました。およそ260余り数の地方が江戸と交流しながら都市に発展していったのです。(裏面へつづく)

参勤交代の行列に参加したのは少数の武士だけではありません。武士の生活の世話をやく中間や物運びの百姓など大勢の人も藩主に従いました。彼らは一年間江戸に滞在し、時々外出しては江戸の町を歩き芝居見物したり、江戸の人たちや他国から来た人たちと交わり、盛り場などで互いに交流できたのです。江戸の空気を十分にすって江戸の土産を手を持った人たちが領国に帰国するのは日本の隅々に文化を伝えることになったのです。このような文化交流は日本以外にはなくどうも江戸独特のものだったようです。それは現代の修学旅行の比ではないのです。大名行列が歩く幹線道路、そこに設けられた宿場、周辺の農村地帯にも江戸の情報はいち早く伝わりました。島崎藤村の『夜明け前』を読むとこのにぎわいが伝わってきます。

250年間続いた平和な徳川時代は、迫りくる西洋列強の圧力の中、明治維新によって終了し政権が交代しました。その政権交代が後の日本にとって実に大きな問題を引き起こす根源になるとは当時の誰もが

気が付かず予想もしなかったことでしょう。それから現在までの150年余りの期間、どのように日本が変わっていったのかを記録したのが日本の近現代史ですが、今回もその歴史をたどることになります。

この交代は、現在「明治維新」と呼ばれていますが、その「事象」は日本の歴史にはありません。当時、それは「ご一新」と呼ばれましたがその実態は「謀略をともなった暴力革命」でした。「明治維新」は「謀略をともなった暴力革命」故に、新政府はその維新の正史を編纂できませんでした。明治新政府が「維新の正史を編纂できない」という「動かせない事実」と「新政府の絶対的理念」の問題があとで問題になるとは、当時の人々には思いつかなかったのでしょうか。その明治維新 80年後日本は一旦滅びました。それからさらに70年後の今、日本はかつてない深刻な問題に直面していると思います。

これから紹介していく様々な問題の「究極的な根源」になったのが「明治維新」と呼ばれる出来事だったと私は考えています。（次号に続く）（北辰）

千葉職対連第45回総会に参加しましょう

日時：7月7(日) 13:00 船橋市勤労市民センター（JR・京成船橋駅より徒歩10分）

懇親会：会費 2,000円 *楽しく懇親を深めましょう

当面の取組日程

千葉職対連事務局

6・19(水) 千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
20(木)~28(金) 自治体要請		
22(土) メタル・労災センター事例検討会	14:00~	中大駿河台記念館 600
26(水) 県職員公災裁判弁護団会議	17:00~	船橋第一法律事務所
29(土) 労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
7・3(水) いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
7(日) 千葉職対連第45回総会	13:00~	船橋市勤労市民センター
9(火) 県職員公務災害裁判	10:00~	千葉地裁 603号法廷
16(火) 過労死シボ 実行委員会	10:00~	千葉県弁護士会館
17(水) 千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
27(土) 労災職業病なんでも相談会	13:00~	成田市中央公民館
8・31(土) 労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター
9・4(水) いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
18(水) 千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
28(土) 労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター